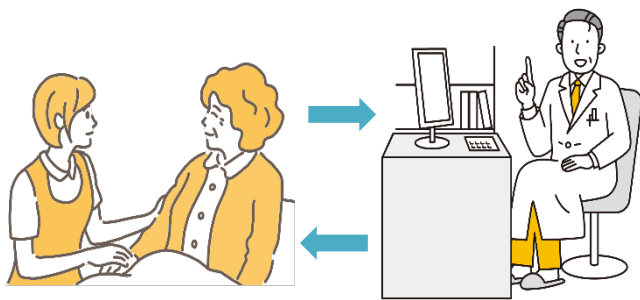


# 未来かなえネット活用例の紹介

-介護版-

## 【温度板で体温管理】

日々の体温を未来かなえネットに入力することで、介護施設入所者や在宅患者が高熱を出した際は、医師がシステムで確認することにより訪問看護ステーションに指示をしたり、病院に入院させることができる。



## 【科学的介護システムLIFEへの活用】

科学的介護情報システム「LIFE」への入力の際に、薬が変更されていないかなどの医療情報の収集を未来かなえネットで行える。

既往歴、服薬情報、認知症等



## 【コミュニケーションボード】

医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャーなどで情報交換ができるツール。

画像や動画を添付することができるので、介護施設の入所者の褥瘡の状況を受診前に医師に情報提供が可能になる。



## 【入退院時における施設間の情報連携】

未来かなえネットで地域連携パスシートを作成し、オンラインで情報のやりとりができる。郵送や持参するロスがなくなるとともに感染リスクを抑えることができる。

入院中の状況も把握できるため、退院後のケアも適切に対応できる。



新型コロナウイルス感染症対策をして  
巡回しております。

発行者：一般社団法人未来かなえ機構 事務局

機構ホームページは  
こちらのQRコード➡

